

《参考資料》

- 1)城向富由子:骨髓抑制① 白血球減少に伴う易感染.勝俣範之,足利幸乃,菅野かおり(編著):がん治療薬まるわかり BOOK.照林社.2015;270-272.
- 2)大上幸子:骨髓抑制② 赤血球減少に伴う貧血.勝俣範之,足利幸乃,菅野かおり(編著):がん治療薬まるわかり BOOK.照林社.2015;273-275.
- 3)城向富由子:骨髓抑制③ 発熱性好中球減少症(FN).勝俣範之,足利幸乃,菅野かおり(編著):がん治療薬まるわかり BOOK.照林社.2015;276-278.
- 4)大上幸子:骨髓抑制④ 血小板減少による出血傾向.勝俣範之,足利幸乃,菅野かおり(編著):がん治療薬まるわかり BOOK.照林社.2015;279-281.
- 5)小谷美智代:骨髓抑制.三嶋秀行(監):そのまま使えるがん化学療法患者説明ガイド.メディカ出版.2015;128-132.
- 6)山田みつぎ:副作用はこうして乗り切ろう!「感染症」.がんサポート.2015;148: 92-95.
- 7)小室泰司,金子佑典,元木 忍,他:4章 骨髓抑制.佐々木常雄,岡元るみ子(監):そこが知りたい!がん化学療法とケア Q&A 第2版.総合医学社.2014;90-110.
- 8)荒川さやか,後藤悌:感染症.小西敏郎(編):はじめてでもやさしいがん化学療法看護-抗がん薬を扱う知識と副作用マネジメント.学研メディカル秀潤社.2014;31-31.
- 9)荒川さやか,後藤悌:骨髓抑制.小西敏郎(編):はじめてでもやさしいがん化学療法看護-抗がん薬を扱う知識と副作用マネジメント.学研メディカル秀潤社.2014;32-33.
- 10)沖中敬二(監):がん治療と感染症 がん治療中は感染症のリスクが高い!日常的な注意を.がんサポート.2014;137:46-49.
- 11)中川靖章(監):抗がん剤治療中の生活ケア BOOK-骨髓抑制による感染症(好中球の減少).実業之日本社.2013;72-73.
- 12)矢野邦夫:抵抗力の低下している人を感染から守る本.ヴァン メディカル.2012.
- 13)柳原一広,福島雅典(監):血液毒性(骨髓抑制).がん化学療法と患者ケア.医学芸術社.2012;179-186.

- 14)菅野おおり:骨髄抑制.篠原信雄(監):泌尿器科のがん化学療法・薬物療法完全ガイド 泌尿器ケア 2009 年冬季増刊.メディカ出版.2009;163:231-235.
- 15) 土屋達行(監):血液総論.医療情報科学研究所(編):病気がみえるVol.5 血液.メディックメディア.2008;2-8.
- 16) 松田晃(監):赤血球の構造と機能.医療情報科学研究所(編):病気がみえる Vol.5 血液.メディックメディア.2008;10-13.
- 17) 伊豆津宏二(監):白血球総論. 医療情報科学研究所(編):病気がみえる Vol.5 血液.メディックメディア.2008;46-53.
- 18)佐々木常雄(監):貧血(赤血球減少).抗がん剤の作用・副作用がよくわかる本.主婦と生活社.2007;96-97.
- 19)佐々木常雄(監):出血しやすい(血小板減少).抗がん剤の作用・副作用がよくわかる本.主婦と生活社.2007;98-99.
- 20)佐々木常雄(監):感染症(白血球減少).抗がん剤の作用・副作用がよくわかる本.主婦と生活社.2007;100-101.
- 21) 軒原浩:がん薬物療法による副作用とその対策 骨髄抑制.西條長宏(編):インフォームドコンセントのための図説シリーズ.医薬ジャーナル社.2005;28-34.
- 22) 喜多川浩一:がん薬物療法による副作用とその対策 感染症.西條長宏(編):インフォームドコンセントのための図説シリーズ.医薬ジャーナル社. 2005;35-42.
- 23) 森享(監):骨の造血機能.西東社.2005;46-49.
- 24)山口建(研究代表者):厚生労働科学研究費補助金「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書 概要版」.2004.
- 25)静岡県立静岡がんセンター:抗がん剤治療と皮膚障害 第9版(3).2025.
- 26)静岡県立静岡がんセンター:抗がん剤治療と口腔粘膜炎・口腔乾燥 第3版(5).2025.